

CSやってみよう!

地域とともにある“楽しい学校”づくり



裾野市教育委員会
学校教育課
令和5年1月11日

地域

子どもたちをみんなで育てよう!

学校

あけましておめでとうございます。新しい一年が、子どもたちや先生方にとって、また保護者や地域の皆様にとって、笑顔あふれる年になりますようお祈り申し上げます。

さて、4月から市内全校でスタートしたコミュニティ・スクールですが、各学校運営協議会での協議や熟議により、「子どもたちを地域と学校で育てよう!」という目標やビジョンが共有され、「地域とともにある“楽しい”学校づくり」に向けた具体的な取組が進みつつあります。また、コロナ禍で活動が制限された中でも、地域の方の参画を得た様々な地域学校協働活動が行われ、新たな取組も見られました。今回は、その取組の一部を紹介します。



中学生が地域の大人とともに学ぶ

～西中学校「すそのん寺子屋」～

放課後のある日、中学生と地域の学習支援員が教室に集まっています。参加していた生徒に聞くと、「家だとスマホがあって勉強に集中できないから。」「友達がいると、勉強に対するやる気上がるから。」と参加する理由は様々。左の写真は、難度が高い宿題を中学生2人と学習支援員2人が一緒になって考え込んでいる様子です。中には、小学生の頃から『すそのん寺子屋』に参加している生徒もいました。

放課後の気楽な雰囲気の中で、地域の子どもと大人が関わる空間に何とも言えない温かさを感じました。

学年を超えて、みんなでドッジボール!

～向田小学校「放課後クラブ活動」～

11月からスタートした「放課後クラブ活動」は、子どもたちからの「やりたい!」の声と、保護者の「やってもいいよ!」の思いが重なって実現したようです。学年関係なく、子どもたちがとても楽しそうにドッジボールをしていました。穏やかな表情で見守る大人もいて子どもたちも安心して遊んでいました。子供も大人も、すぐにお互いの顔や名前が分かるようになり、小規模校のよさを感じました。



地域の依頼に、中学生が立ち上がった

～東中学校「美術部」～

美術部が区の依頼を受け、富士見台区の防災倉庫の壁画を完成させました。CSディレクターが区長から「ペンキがはげてしまった壁の装飾を生徒にお願いしたい。」と相談を受け、学校と地域の橋渡しをして実現しました。壁画は、防災倉庫にちなみ水の大切さを訴えたデザイン。美術部メンバーがアイデアを出し、地元住民が選んだとのこと。生徒は地元住民の助言を受けながら約2か月かけ完成させました。実際に行ってみると、中学生と地域の方々の思いが込められた壁画によって、公園が明るくなったように感じました。



【地域学校協働活動】って…?

幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。読み聞かせ、授業のゲストティーチャー、放課後の学習や体験活動などが含まれます。社会教育法第5条により規定された活動です。各学校のスクール・ディレクターが学校と地域の橋渡し役になっています。